

モートンベイ市との交流

9～10月、本市の友好都市であるオーストラリア・モートンベイ市長や高校生等が本市を訪れました。そのときの様子をご紹介します。



竜王中学生によるお出迎え

レッドクリフ・ステート・ハイスクールで日本語を専攻している生徒21人が、9月18日、修学旅行の一環で本市を訪れました。同校には長年にわたり、本市の中学生海外派遣事業を受け入れていただいております。本市からの派遣生徒は同校日本語専攻クラスの生徒宅にホームステイをしています。

来訪した生徒たちは、きららガラス未来館で万華鏡の制作体験(A・B)、竜王中学校で給食体験・交流(C・D)、小野田高校でかるた体験(E)をしました。



議場に

ピーター・フラナリー市長、経済開発部門最高責任者ポール・マーティン氏、経済開発部門主要投資リーダーキャメロン・ヘザリントン氏、サンシャインコースト大学理工学部学部長スチュアート・パーソンズ氏の4人が、さらなる友好関係を築くため、10月3日～6日の日程で、本市を来訪されました(F・G)。

10月4日、市役所ロビーで歓迎セレモニーを開催し(H)、その後10月5日にかけて、赤崎小学校(I)、山口東京理科大学(J・K)、きららガラス未来館(L)等を視察されました。



書道に挑戦

研究室を見学

7月31日～8月11日の日程でモートンベイ市に派遣された生徒の帰国報告会が、10月4日にAスクエアで開催されました。派遣生徒8人はそれぞれ自分たちが経験したことや感じたことを現地で撮った写真を交えて発表しました。フラナリー市長ら同席のうえ開催されたため、英語での発表に挑戦する生徒もいました。29回目の開催となりましたが、モートンベイ市の関係者が帰国報告会に同席されたのは初めてです。報告会終了後、生徒がフラナリー市長らに積極的に話しかけ、笑顔で交流する場面もありました(M・N)。



▲吹きガラス制作を体験
フラナリー市長が制作したガラス作品▶